

.....

.....

.....

1

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[28]歳、 勤続年数[5]年、 現場経験年数[5] 年、 階級[消防士]、 同様の活動 [1 年に数度]、 任務 [機関員]
○当事者 B	年齢[]歳、 勤続年数[]年、 現場経験年数[]年、 階級[]、 同様の活動 []、 任務 []
○当事者 C	年齢[]歳、 勤続年数[]年、 現場経験年数[]年、 階級[]、 同様の活動 []、 任務 []
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	単車を運転していた、38 歳女性。

1 1. 事例発生経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	A	管内警防調査中に火災指令を受信、出動。	
経過 2	A	現場到着、水利部署しホース延長。放水開始	
経過 3	A	車載の三連梯子の準備を行なう。	
経過 4	A	三連梯子を隊員に搬送させ、ホースブリッジの準備を行なう。	
経過 5	その他	道路を西側から単車で進行してきたところ、送水中の 6 5mmホースに乗り上げ転倒する。	
経過 6	A	その他の転倒を確認し、すぐに救護し分隊長に報告する。	
経過 7			
経過 8			
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

● ●

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思えるか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できなかった。資機材の不機能が適切だった。たまたま、負傷事故になった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	はい
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

はい：現場付近での一般市民等に対する現場での危険喚起の広報等がなかった。

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○注意力欠如、焦り等の対策について

事故事例等により、現場活動中の周囲の状況、起こりうる危険を予測し、それに対する準備を行なうようになった。常に気持ちに余裕が持てるように、災害発生時の情報を精査できるように心掛けるようになった。

○装備・資機材の対策について

積載資器材の配置を見直し、使いやすく取り出しが容易にできるようにした。

○活動環境の対策について

常に起こりえる危険予測を念頭において活動することを心掛けるようになった。

○指揮・情報伝達の対策について

伝令や無線機等、使用出来る情報伝達手段を積極的に活用するよう心掛けるようになった。